

藤枝市・藤枝市社会福祉協議会

ふじえだ足すとプロジェクトF～藤枝市の挑戦者たち～

藤枝市では、市民団体や社会福祉協議会などと市が一体となって高齢者の「足」の問題の解決に向けて取り組み、高齢者に外出の楽しみを取り戻す成果を上げてきました。超高齢社会に共通するこの「足」の問題の解決に向けた努力と、これからも続く挑戦について、藤枝市の感動の物語を紹介します。

D 助け合い活動の創出に関するもの

Fujieda あし Assist

ふじえだ足すとプロジェクトF

PROJECT F Foot Fujieda Challengers

藤枝市の挑戦者たち

平成29年

地区社協の会長たちは、口々に言った。
高齢者の単身世帯や老老世帯が増えている。
高齢になって免許返納できない。
高齢者の一足ののりから、行政職員や団体から異議が出た。
「高齢者の一足ののりから、行政職員や団体から異議が出た。」

「高齢者の一足ののりから、行政職員や団体から異議が出た。」

「高齢者の一足ののりから、行政職員や団体から異議が出た。」

平成30年

「高齢者移動支援研究会」を立ち上げ、市役所関係部署11課室、市内5地区の地区社協、市社協、シルバー人材センター、地域包括支援センターが一堂に集し高齢者の「足」の課題解決に向け、話し合った。
有償で人を運ぶ場合は、国土交通省の許可や登録が必要となります。
無償の場合は不要ですが...
先達事例を学び、地域住民ができることを考えた。
運転は地域住民でできるけど、車両の購入や管理を住民が負担だよ。
車庫を市で用意してもらおう。
車庫を市で用意してもらおう。
車庫を市で用意してもらおう。
車庫を市で用意してもらおう。

令和元年

西浜津、葉梨、広橋、瀬戸合の4地区で、地域住民の組織が立ち上がり、地域支援サービスがスタートした。
出発します！
またお買い物ができるじゃんね。
閉じこもりがちな高齢者たちに笑顔が戻った。

令和2年

大洲、高洲の2地区もこれに続いた。
またお買い物ができるじゃんね。
閉じこもりがちな高齢者たちに笑顔が戻った。

令和3年

移動支援研究会を調准し、各地区の現状やニーズなる取組市の新たな事業として話し合った。
市は令和4年度から、地域の団体と連携して高齢者を通いの場へ送迎するデマンドバスの運行を決めた。
さらに、自家用有償旅客運送の支援制度も作ることにした。

令和3年

藤枝市の移動支援の挑戦者たちの旅は終わらない。
またお買い物ができるじゃんね。
閉じこもりがちな高齢者たちに笑顔が戻った。

第1層SCは、賭けに出た。
※SC：生活支援コーディネーター。市全体担当の第1層と、地区担当の第2層とで役割を分担。
第2層SCは、地域の協議を精一杯支えた。
第1層SCも、地域の協議に足を運んだ。

移動・買い物支援